



日本骨髄バンクの現状（平成 25 年 5 月末現在）

	4 月	5 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,433	2,622	432,108	580,976
患者登録者数	253	262	2,891	38,803
移植例数	98	111	—	15,598

■5 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,071 人
20 代	71,615 人
30 代	152,133 人
40 代	163,889 人
50 代	41,400 人

■5 月の 20 歳未満の登録者 330 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■5 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／712 人、献血併行型集団登録会／1,800 人、集団登録会／62 人、その他／48 人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 将来検討会議の中間答申について

当財団理事会のワーキンググループである将来検討会議は「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の成立を踏まえ、昨年 10 月から 7 回にわたり、①コーディネート期間の短縮と「拠点的な病院」について、②ドナー登録について、③中央患者登録センター（仮称）の設置について、④非血縁者間末梢血幹細胞移植（PBSCT）拡大について、の 4 つの課題について検討を行ってきました。このほど、これらの課題について提言を取りまとめ、6 月 7 日に開催された第 3 回通常理事会に中間答申書として提出されました。答申書は、当財団ホームページで公開しています。

http://www.jmdp.or.jp/documents/file/07_about_us/shourai%20tyukantoshin2013.pdf

2 アドバイザリーボードを開催

5 月 22 日、「第 1 回アドバイザリーボード」が開催され、医師、ボランティア、マスコミなど関係者 20 人が参加しました。アドバイザリーボードは、昨年公益財団法人へ移行したことから、従来のボランティア連絡会を発展的に解消して、新たに設置された会議体です。2012 年 9 月に成立した「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の概要、厚生科学審議会造血幹細胞移植委員会の議論の状況、財団の「将来検討会議」の検討内容が説明され、その後、当財団の課題についてメンバーの活発な意見交換が行われました。

3 中国骨髄バンクから初提供、移植が実施されました

2007 年 10 月に業務提携を締結した中国骨髄バンク（CMDP）から、この度、初の造血幹細胞提供がありました。

患者は 30 歳代の女性で、国内ドナーとは適合しなかったため、CMDP にドナー検索を依頼しました。その結果、中国国内のドナーと適合し、CMDP を通じて末梢血幹細胞採取が行われ、2013 年 5 月に近畿地区の病院で移植されました。

なお、中国骨髄バンクのドナー登録者は、2013 年 3 月現在約 166 万人に達しています。

4 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。
2013年6月14日現在、認定された施設は55施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

京都府立医科大学附属病院
国立病院機構 熊本医療センター
長崎大学病院
大津赤十字病院
徳島赤十字病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院

・移植診療科

同左 血液・腫瘍内科／小児科
同左 内科
同左 血液内科
同左 血液免疫内科
同左 血液科
同左 血液・腫瘍内科

※ただし、東京慈恵会医科大学附属柏病院での採取については、造血幹細胞測定体制が確認できるまで留保とします。

・採取施設

自治医科大学附属さいたま医療センター

造血幹細胞測定体制が確認できましたので、採取施設認定の留保が解除となりました。

新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

5 7月から新しいACジャパンの支援キャンペーンが始まります！

公益社団法人 AC ジャパン（旧：公共広告機構）は、「企業、個人の会員が会費を出し合い、世の中のためになるメッセージを、広告という形で発信する」団体です。

当財団発足時、「骨髄バンク」はその名前すら国民に認知されていませんでしたが、1993年のバラ・ブッシュ夫人のキャンペーンにはじまり 1995年を除いて 2007年まで、「ドナーが30万人になるまでは」と同法人より継続支援をいただき、「骨髄バンク」を広めていただきました。その後、新しい支援先への道を開くという理由から 2008年から3年間の中断がありましたが、2011年に再び支援が開始されました。今年度も7月から新しいキャンペーンが始まります。詳細は、次号でご紹介させていただきます。

6 「骨髄バンクシリーズ」読売巨人軍が実施 杉内投手もポスター制作で支援

読売巨人軍には「助かる命を助けよう！」をスローガンに、2006年から骨髄バンクをご支援いただいています。今年も東京ドームの主催4試合（6月5日、6日の日本ハム戦、8日、9日の楽天戦）で「骨髄バンクシリーズ」を実施していただきました。

バンクを通じて骨髄移植を受けた元患者さんの始球式、オーロラビジョンを使った原監督によるドナー登録呼びかけビデオの放映などの他、コンコース内ではドナー登録説明会（5日、6日）、ドナー登録会（8日、9日）も開催し、24人にドナー登録していただきました。

また、チャリティグッズを販売し、収益の一部が当財団に寄付されます。今年は「骨髄バンクタンブラー（写真左）」で、9月のシーズン終了までジャイアンツショップオンライン、TODO ショップ、東京ドーム内特設ワゴンにて販売されます。（税込 1,000 円）

一方ドナー登録をされている杉内俊哉投手には、ソフトバンク時代から「骨髄バンク普及ポスター」を自費制作していただいておりますが、今年も新しいポスターが完成しました。（写真右）

ご希望の方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：（公財）骨髄移植推進財団 広報渉外部 03-5280-8111



7 友情～秋桜のバラード～ ロングラン公演で今年 500 回に

今年も舞台「友情～秋桜のバラード～」が上演されます。

本作品は白血病の治療で髪の毛が抜けてしまった少女を励ましクラス全員が頭を丸めた米国の実話をもとにした物語です。1999年の初演以来14年間のロングラン公演が行われていますが、今年も6月から福島県いわき市を皮切りに、石川県小松市、七尾市、金沢市、そして9月には東京都内、栃木県宇都宮市、千葉県四街道市での公演が決定、海外公演も予定されています。

上演に先立つ6月5日には、「品川・六行会ホール」において制作記者会見・出演者の断髪式、公開リハーサルが行われました。今年も多くの皆さまにご覧いただき、骨髄バンクの普及啓発につながることを期待されます。

8 サントリービバレッジサービス「骨髄バンク支援自動販売機」を導入

サントリービバレッジサービス株式会社は、CSRの一環として、骨髄バンク支援の自動販売機を導入しました。購入された金額に応じて、同社から、当財団へ寄付される仕組みです。設置していただける企業、病院などをご紹介いただければ幸いです。



また、当財団の採取および移植認定施設につきましては、改めて設置依頼の文書を施設長あてに送らせていただきます。ご検討のほど、よろしくご依頼申し上げます。

お問い合わせ先：（公財）骨髄移植推進財団 広報渉外部 03-5280-8111

9 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当財団事務局総務部までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定
通常評議員会	公開・一部非公開	6月24日（月）14:00～ 廣瀬第2ビル 地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	6月29日（土）13:00～ 教育会館
データ・試料管理委員	公開・一部非公開	7月13日（土）13:30～ 品川インターシティ

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10 選定直後のドナー理由終了について

確認検査適格判定からまもなくドナーとして選定されたにもかかわらず、健康上の理由以外のドナー理由（都合つかずや家族同意なし）でコーディネーターが終了となった事例が続きました。

確認検査面談当日に十分に確認していても、状況に変化が生じるのはやむを得ないこともあります。また、提供はドナーの自由意思によるものであり、最終同意書への署名・捺印前であればいつでも辞退できることも事実です。

しかしながら、確認検査の質の向上により、適格と判定されるとすぐにドナーに選定される可能性が高いことをドナーへていねいに説明し、提供に向けてのコーディネーターが可能かどうかについて、より慎重に確認するようお願いします。

11 術前健診実施後の患者理由終了について <移植施設の方へ>

ドナーの術前健診実施後に患者理由でコーディネートを終了するケースが、2012 年度には 69 件ありました。ほとんどが急な病状の変化等によるもので、止むを得ないことは重々承知しておりますが、移植施設からの中止連絡が 1 日早ければドナーの術前健診や自己血貯血をストップできたケースもあります。また、日程によっては、中止となった採取日(枠)を他の患者・ドナーに振り替えられる可能性もあります。

移植の中止/延期/保留を検討される場合には、一刻も早いご連絡をお願いします。

12 2013年度 全国調査 本登録データ提出のお願い <移植施設の方へ>

6 月 10 日付で日本造血細胞移植学会より「2013 年全国調査本登録データ提出のお願い」が発出されました。提出期限は 9 月 30 日(月)必着となっておりますのでご対応のほど、よろしく申し上げます。詳細は、別添「2013 年全国調査 本登録データ提出のお願い」をご確認ください。

13 第 19 回コーディネーターブラッシュアップ研修会について(第 1 報) <コーディネーターの方へ>

第 19 回コーディネーターブラッシュアップ研修会は、本年 11 月に開催される「骨髄バンク推進全国大会 2013」に併せて開催します。現時点で決まっていることをお知らせします。詳細については別紙をご参照ください。

<1 日目>

■「骨髄バンク推進全国大会 2013」

日時：2013 年 11 月 9 日(土) 12:30~16:00(予定)

場所：京葉銀行文化プラザ・3 階・音楽ホール(千葉市中央区富士見 1 丁目 3-2)

<2 日目>

■第 19 回コーディネーターブラッシュアップ研修会

日時：2013 年 11 月 10 日(日) 9:00~13:00(予定)

場所：みやざき倶楽部(千葉市中央区宮崎 1-15)

*同日 14 時~16 時(予定)、同会場にて、地区事務局・コーディネーションスタッフ会議を開催します。

**14 ドナー本人確認制度に関する帳票変更等について <コーディネーターの方へ>**

マンスリーJMDP5月号にて標記制度に関してお知らせしましたが、一部修正・追加がありましたのでご確認ください。

- 1) 資料 P.4「本人確認のタイミングと方法」に下線部追加（別紙参照）
- 2) 「最終同意面談報告書」のドナー本人確認欄に、確認検査省略時記入欄追加（別紙参照）
- 3) 「ご本人確認についてのお願い」（ドナー宛）の下記の記載内容を変更（別紙参照）

【変更点】**●変更前**

2) 経緯等

これまで、・・・・・・・・（中略）

また、献血事業においても初回献血時に本人確認を実施し、確認できない場合は献血をお断りしています。

●変更後

2) 経緯等

これまで、・・・・・・・・（中略）

また、献血事業においても初回献血時に本人を証明できる書類の提示をお願いしています。

【変更の理由】

献血事業では、3回連続して確認書類の提示がない場合、3回目の献血はできません。

これまでの内容では初回から献血できないと誤解を与える恐れがあるため変更しました。

15 連絡事項**◆第17回コーディネート終了時アンケート（2012年度）集計について**

コーディネート終了時アンケート（2012年度）を集計しました。集計結果は、今号に同封してコーディネーターの皆様へお送りします。